

## コロナ禍におけるボランティア活動に関する状況調査 報告書

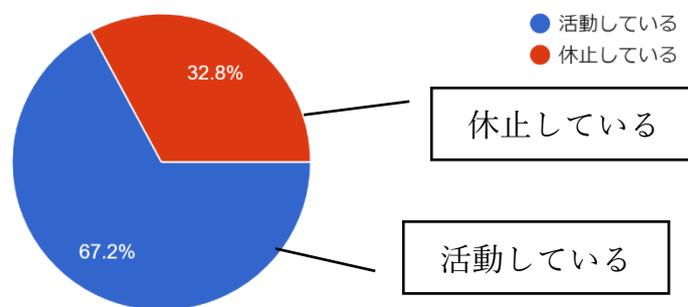
### 【概要】

- 調査期間:令和2年12月1日~令和2年12月25日
- 調査対象:日高市ボランティアセンター登録ボランティア団体 98団体
- 実施方法:アンケート方式 ※FAXまたは google フォーム
- 担当:日高市ボランティアセンター 吉田

### 【集計結果】

- 回答数:67団体(対象98団体) 回答率:68%

○活動状況:活動している(45団体)・休止している(22団体)



○活動内での工夫 ※複数回答可

- 1位 マスク・フェイスシールドの着用(35団体・77.8%)
- 2位 換気の徹底(29団体・64.4%)
- 2位 検温(29団体・64.4%)
- 4位 活動内容の変更(24団体・53.3%)

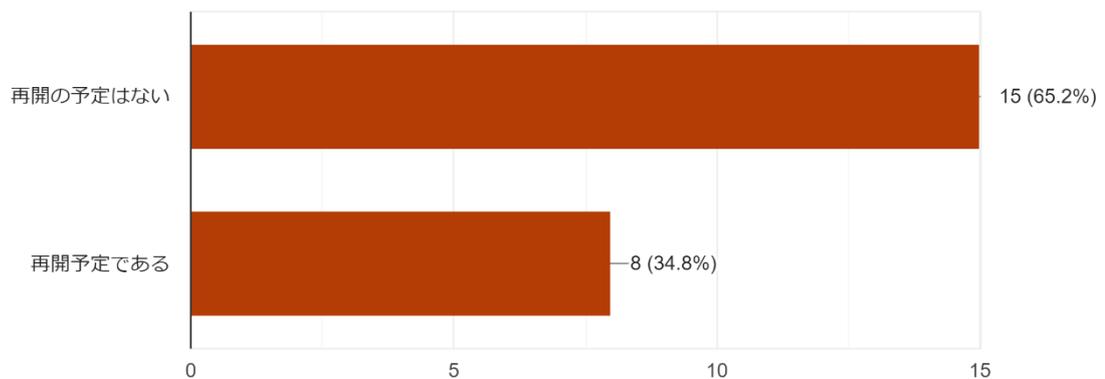
○活動内容の変更は具体的に

- ・児童参加は中止し、役員を中心とした活動にした
- ・食事会なし。新年会も見合わせて状況を見ながら、新年度会を外で実施予定
- ・週2回のくりくりげんき体操は休止
- ・月1回のガサガサ(川の生態調査)は継続し、屋外、分散、4~5人のため、マスクは徹底せず。環境活動展、ひ・まわり探検隊はコロナのため、ボランティア体験は酷暑のため中止になっている。
- ・時間短縮 ・会食をしない ・午前中のみ、調理は中止
- ・室内での運動、歌う活動は中止している。しかしくりくり元気体操は行っている。手作り教室では参加者が減っている。
- ・民族料理教室などは中止しているが個人的な生活全般にわたる相談などは継続中です。
- ・活動時間を短縮、人数の制限 ・屋外で話し合い ・会食は不可なのでお弁当配付

- ・活動時間の短縮 ・会議や研修などは人数を減らし、同じ内容のものを数回実施
- ・屋外での刈り払い、除草等を中心に距離をとり行っている。
- ・室内での交流は減らして、野外や人混みを避けての展示会などに参加。
- ・開放型定例会等 ・今年の総会は中止しました。 ・人数制限
- ・休憩時間を短縮、活動時間短縮
- ・危険な仕事はしていない。例) 発熱者の移送、発熱者の家事支援
- ・屋外を利用 ・定例会を減らしています ・除草作業中心にしています。

### ○現在休止している団体で再開の予定は？ ※現在休止中の団体

再開予定なし(15 団体)・再開予定あり(8 団体)

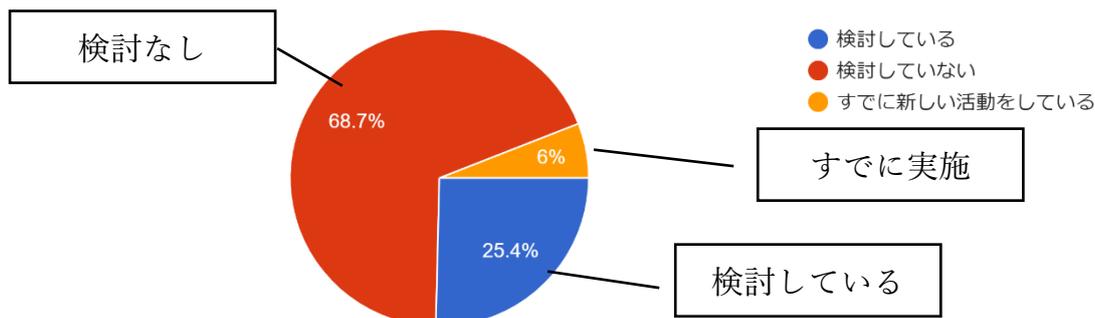


### ○再開予定の団体、再開予定時期は？

未定多数 他:1 月頃、3 月頃、4 月頃、春ごろ、9 月頃

### ○コロナ禍における新しい活動の検討

67 件の回答



検討していない(46 団体)・検討している(17 団体)・すでに新しい活動をしている(4 団体)

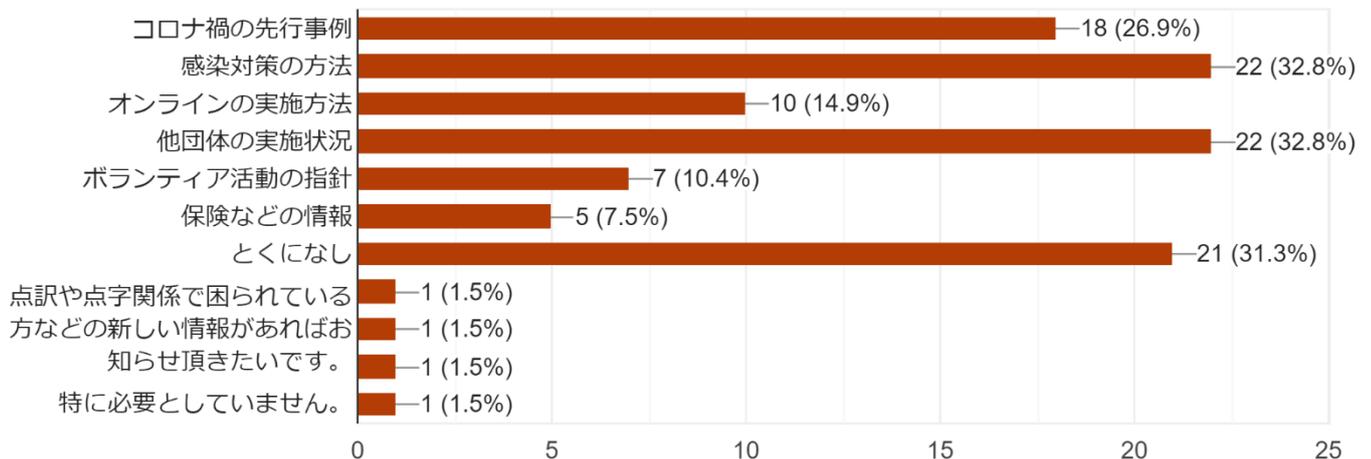
### ○新しい活動は具体的に

- ・YouTube の活用 ・マスクづくり ・6 月より集団での会食をテイクアウトにした。
- ・今まで以上に屋外での活動を中心とする ・ZOOM にての講座の開催
- ・野外での活動 ・オンライン
- ・定例会で点訳作業や依頼についての相談ができなくなりました。より丁寧に細かく連絡をとり合う、という会員間の活動方法の変化です。

- ・フェイスシールド専用に制作し、装着して練習する。会員を半分ずつにて練習する。
- ・お弁当配付を希望する場所への出前配布
- ・3密と短時間、懇親会中止、屋外中心地の活動に徹する。
- ・ネットを活用しての繋がり方 ・距離を保っての野外散策
- ・開放型定例会、メールの活用、時間短縮、お約束事の見直し
- ・実際の作業に於いては換気、休憩中のソーシャルディスタンスなどを徹底、研修旅行などは見合わせている。

### ○今、必要な情報はありますか？※複数回答可

- 1位 他団体の実施状況(22 団体・32.8%) 感染対策の方法(22団体・32.8%)
- 2位 とくになし(21 団体・31.3%)
- 3位 コロナ禍の先行事例(18 団体・26.9%)
- 4位 オンラインの実施方法(10 団体・14.9%)
- 5位 ボランティア活動の指針(7 団体・10.4%)



### ○現在の状況で困っていること

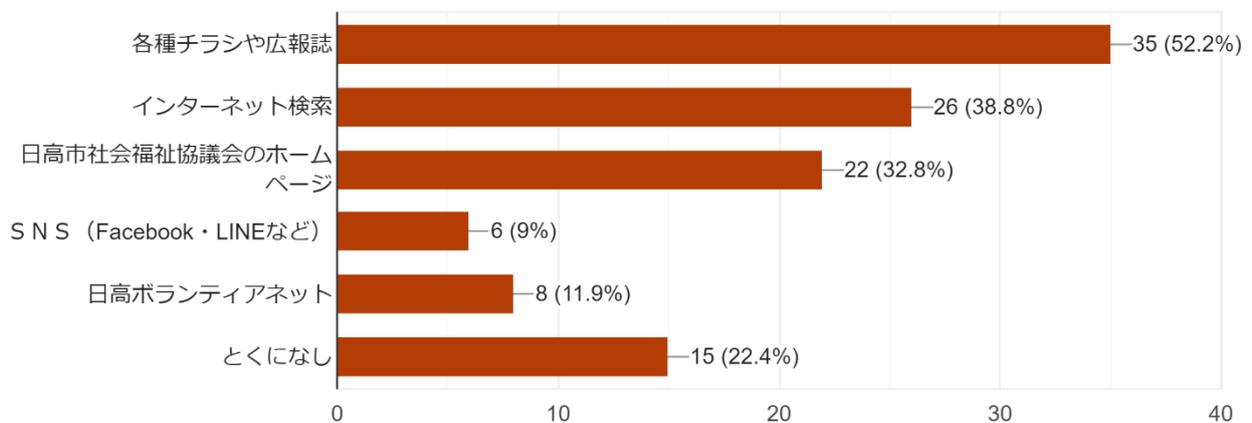
- ・高麗の郷の部屋の予約が取りにくい(定員制限のため)。送迎ボランティアを依頼しにくい。
- ・活動できているメンバーが少ない(3人)ので会員を増やしたい。
- ・主に利用している「余暇活動室」の使用人数制限により、メンバー全員で一緒に活動できないため、困っている。
- ・コロナ禍での児童の参加方法について。参加児童が少ないこと、増やす方法について
- ・ボランティアも高齢化しており、継続してのボランティア行動が難しくなっている。
- ・作業後の話し合いを短くしているので、今後の活動の計画を立てにくい。ラインで連絡を流している。
- ・コロナのため講座が開けないままになっています。平常活動は気を付けて続けています。
- ・どこまでやって良いのか分からない
- ・高齢者の方々が楽しみにしているくりくりげんき体操が実施できていない事。包括センターと協働しながら開始に至れば嬉しい。

- ・対外的なイベントが中止になり、「ボランティア団体」としての存在意義がうすれているのではという危惧
- ・現在は保護者にも特別な事情を除いてできるだけ校内に入らないようお願いをしている状況です。感染状況をみながら対策を講じて活動を検討していくしかない状況です。
- ・オンラインの不得手な会員への対応
- ・参加人数が少ないこと。活動制約がよくわかっていないこと。ボランティア者内話し合いの場が取れないこと。
- ・私達の活動は北公民館で高齢者対象の映画会を年2回行っていました。参加者は50名~80名程います。暗幕を引き、換気の問題もあり、開催できない状態です。
- ・活動場所、内容が制限されている ・調理室が狭いので
- ・GOTOキャンペーン後、コロナ感染への怖れる気持ちがゆるんできている私達。また自粛が始まりそうです。この先、体調の整え方、弱らせないため、今の状況が続けられることを望んでいます。
- ・再開を来春に予定しているが、どのタイミングにするか迷っている。
- ・全員で集まる会場が取りにくい。2部制にして、学習会、会議をしている。
- ・点字資料の作成は各々自宅でできる作業ですが、やりの希望や相談、途中で出てくる疑問や学習会などが、定例会で出来なくなっています。ここは大切なことですので、マメに連絡をとり合い、情報の共有につとめています。
- ・昨年迄、演奏依頼があれば全て受け入れて来ましたが、これから依頼が来たら受けて良いものか心配です。
- ・活動に使用する部屋が狭い時には、人数の制限が必要なこと。また、使用できる時間が決まっていること。
- ・活動メンバーの高齢化が進む中、新規若手メンバーの加入が悪いことに苦慮してます。
- ・部屋の確保ができない。できたとしても人数の制限があり、屋外で話し合いをすることもあります。
- ・今後、公民館などの使用制限が心配
- ・全員高齢者でガンや心臓病の人もいて、再開には慎重にならざるを得ない。ワクチンや治療薬が普及するまでムリかな
- ・自治会建替えのため開催場所がない
- ・コロナが終息して安心して活動が出来るのを待つのみです。
- ・5年間参加者が増えず、高齢化が進み、体力・知力も衰えて怪我がなければ\*\*\*と心配しています。
- ・会員の状況が把握しにくい
- ・コロナの感染がいつおさまるかわからず、活動再開の予定がたたないこと
- ・開催していてもよいのか、中止にした方がよいのかと迷うところです。
- ・部屋の確保等(人数が多いため) ・人数制限が難しい
- ・本来が手作りお菓子でのおしゃべりがテーマのサロンなので、形を変えて開催するか
- ・ボランティアをする方が75歳前後なので、出るのが臆病になっている。

- ・コロナ対策…。コロナが長引く中で危機意識のうすれ。活動を続けるために、又感染に早く気付くために、気づいた時の手配など、対策を立てたい。
- ・高齢による会員減に対し補充が出来ない。特に当会は男性。
- ・他団体の状況を知りたい
- ・コロナのために総合公園の利用ができなくなったのは困りました。(貸出禁止の時期)
- ・お子様と接する際に消毒、マスク、フェイスシールド以外に何が必要か?できるか?

#### ○情報収集の方法※複数回答可

- 1位 各種チラシや広報誌(34団体・52.2%)
- 2位 インターネット検索(26 団体・35.8%)
- 3位 日高市社会福祉協議会のホームページ(22 団体・32.8%)



#### ○自由記述

- ・今の状況では近い将来、会の活動を終了することも視野に入れている。
- ・ガイド依頼があった際には、社協の方にできれば参加をお願いしたい
- ・希望する部屋の予約が他団体と重複した場合、現状はジャンケンだが、団体同士の話し合いで決める選択肢があっても良いのではないのでしょうか。
- ・本団体の目標には共感する人が多いものの、参加者確保が難しい。児童を地域全体で育てることが今後、求められるが日高では中々進まない。
- ・児童に日高小唄を教える機会を作りたい。
- ・コロナ感染拡大にともない、「かわせみ」の行事も見直しがされており、ボランティアと動く機会がなくなっている。ボランティアの高齢化も原因の一つになっている。
- ・サロンではくりくり体操中心で続けています。コロナでもずっと継続して会員には好評です。
- ・来た人が少し話をして安心して帰ってもらえるのが一番いい。
- ・いつもサポートいただきありがとうございます。
- ・来年度は人数を減らして時々、窓を開けるなり考えたいと思っています。
- ・オンラインでどんなことができるのか。寒々に向かって外の行事は増やせない。サロンで会話ではない何かを探しています。
- ・感染対策が大事です。がんばります。

- ・思ってももなかった 1 年でしたが、考えさせられることも沢山ありました。たくさんの笑顔や優しさにも出会いました。1 年間お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い致します。
- ・現在、口ずてでメンバー加入を行っていますが、思うようにいかず、高根地区以外に加入を呼びかけたく社協のご協力を頂ければ助かります。よろしくお願い致します。
- ・子ども達の進学決定の時期でもあり、普段の話の中で話を聞いてあげたいと思います。集まる回数が少ないのでたいしたことはできません。
- ・会員が高齢者のため、感染対策を取ったとしても報道等で色々されると活動が難しくなる。
- ・いつもご相談にのってくださりありがとうございます。
- ・新型コロナウイルスはとてもこわいけれど、各個人で注意するしかないと思っている。
- ・田舎住まいなので、自らが感染すると住んでいられなくなるという思いが皆強く子どもたちとも行き来するのを控えている年寄りもいるので、呼びかけもできません。
- ・私達は自粛はせず、活動を続けています。しかし、内実は不安でいっぱいです。
- ・コロナが収束したら活動を再開したいと思います。
- ・高萩小学校地域のおたすけ隊を新たに作るために考えてほしいことは、一つの自治会ではなく複数の自治会の協力によるおたすけ隊とすることが必要です。その時は宮前おたすけクラブも参加したいと考えています。